

地区概要書

(記入日:令和 年 月 日)

1 地区	佐賀県遺産の名称	※景観特性及び当該地区を適切に表す名称とする (例 東与賀の干潟を望むシチメンソウ群生地 古木の杜 河内大山祇神社)		
	所在地	〇〇市〇〇町〇〇		
	景観地区の分類	「自然景観・歴史景観・農山漁村景観・産業景観・眺望景観」から記入(複数可)	面積	(申請範囲の面積) ha
2 主となる地区	地区名	〇〇地区		
	地区の住民等の代表者氏名	区長〇〇〇〇 自治会長〇〇〇〇 など	連絡先	TEL: 〇〇〇〇(〇〇)〇〇〇〇
	住所	〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
3 地区にまつわる物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の景観形成における(歴史的)背景</li> <li>・地域伝承</li> <li>・地区住民等による景観形成に関わる活動、「地域の宝物」となっていることがわかる活動等</li> </ul> <p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みにくい単語にはふりがなを振る</li> </ul>			
4 地区の特徴	1. 地区の特徴 (※「景観地区の分類」を踏まえ、特徴を記入)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区の特筆すべき点、佐賀らしい点</li> <li>・どのような様が景観として美しいのか</li> <li>・「眺望景観地区」に該当する場合は、そこから眺望できる景観についても言及する</li> </ul>			
	2. 周辺環境との関係			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における歴史的背景、地区外の景観資源</li> <li>・観光交流の場</li> <li>・周辺交流施設など憩いの場</li> </ul>				
3. 地区内の景観資源				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内から見える背景としての景観資源 例:海、山地、平野(自然環境)、夜景、星空など</li> <li>・地区内の景観資源 例:生態系(生物、樹木 等)、建物(神社仏閣 等)、伝統行事 など</li> </ul>				

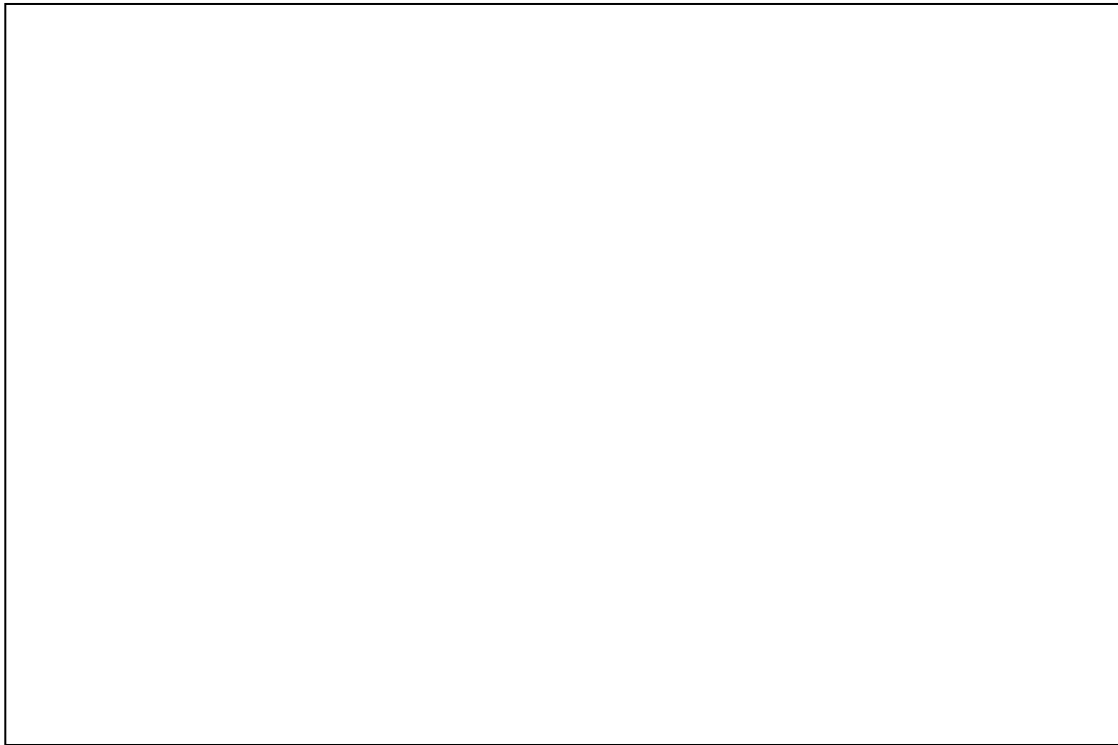
佐賀県遺産の名称	〇〇〇〇〇〇
景観づくりの目標	
どのように保全・管理・活用し、どのような景観を目指すか	
法律や条例などによる景観上の規制誘導事項	
<ul style="list-style-type: none"><li>・都市計画関連</li><li>・農林水産関連(農振法、森林法など)</li><li>・文化財関連(史跡、伝建地区など)</li><li>・海岸関連(海岸法)</li><li>・自然公園関連(自然公園法、自然公園条例など)</li><li>・民間における協定(建築協定など) 等</li></ul>	
活動団体等の名称	
(地区で活動するまちづくり団体、NPO、地域団体など)	
景観づくりの取組	
[これまでの景観整備事業や活動、顕彰など] <ul style="list-style-type: none"><li>・景観整備事業 (例: 中山間総合整備事業による農道、農村公園等の整備)</li><li>・顕彰(例: 日本の棚田百選、手づくり郷土賞)</li><li>・活動(例: 地区でのイベント、交流活動、地区特産品の創出 等)</li></ul>	
[現状]	
<ul style="list-style-type: none"><li>・景観形成のための住民などによる取り組み</li><li>・地区のPR活動、情報発信の状況</li><li>・屋外広告、建造物等で景観を阻害する恐れのあるものについての現状</li></ul>	
[課題]	
(例 後継者育成、地域間の交流連携 )	
[今後の方針や取組]	
(上記課題を受けて、今後の方針を記入)	

※1, 2の地図の大きさは任意。

1. 地区の位置 ※広域地図で、当該地区がどこに位置するかわかるもの



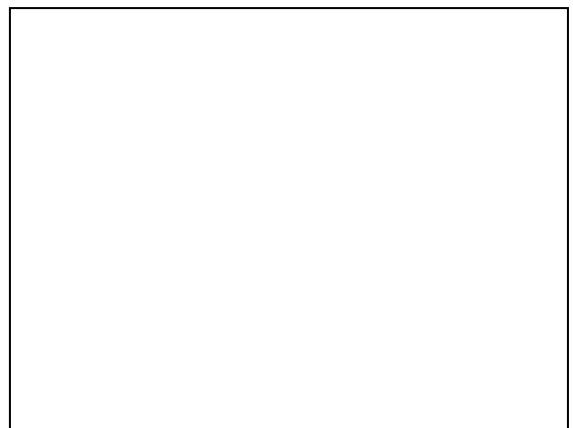
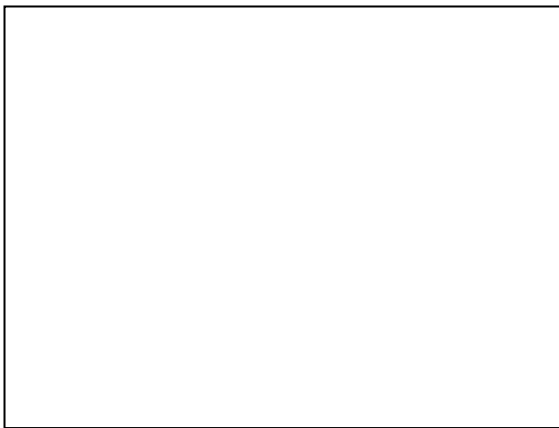
2. 申請の範囲 ※当該範囲を示す地図に申請範囲は赤着色で囲む(ゼンリン地図等)



○申請範囲の考え方 ※申請範囲として適当と考えられる理由を記入する。



1. 写真 ※写真の枚数・大きさは任意  
地区を代表する写真、地区の景観特性を表す写真



景観づくりの状況の写真 ※地区住民や活用団体による保存・活用の取り組みの写真

